



ちよだの保育



平成30年7月20日(金) 認定こども園 大阪千代田短期大学附属幼稚園

毎月の絵本貸し出し、家にあるお気に入りの1冊、こどもたちは絵本が大好きです。本園にも、3階文庫室と1階絵本コーナーを合わせると、相当な数の絵本があります。中にはもう絶版になっている貴重な本もあるのです！絵本はこどもたちにとって大切な『ことばの入口』。そして、絵本を読んでもらう時間はなににもかえがたい『特別な時間』なのです。なつやすみ、お子さまと絵本をゆっくり楽しみませんか？

絵本はこどもがうまれてはじめてであう“本”です！

絵本の世界へ飛び込めば、もう主人公になってしまうこどもたち。たのしいこと、かなしいこと、小さなところで色々感じています。幼児の成長に絵本が必要ということには、たくさんの理由があります。絵本にかぎらず、こどもは自分にとっておもしろいことなら、大人が禁止してもしたがります。つまり、「本を読むことがおもしろくてたまらない！」「楽しくて仕方ない」「大好きなこと」になれば、おのずと本好きになっていくのです。本が好きになれば勝手にどんどん読書をし、文字にも興味が広がっていくことでしょう。

絵本は幼児に読ませる本ではありません。



幼児期から本の楽しさを味わうためには、その子の好きな絵本を、繰り返し繰り返し読んであげることが一番の近道です。お母さんやお父さんが絵本を読んでくれること、それがこどもたちにとってなによりうれしいのです。そうする中で、絵本にかかれたすばらしいことばを、お家の方の口を通して耳から取り入れます。イメージを広げておはなしの世界を楽しめると、自然にこどもは豊かな“ことば”と“こころ”を身に着けていきます。

年長組にもなると、自分で読みたがる姿もあると思いますが、その行為と絵本を読むということは全く違ったものだと思っています。こどもの大好きな絵本が、決して勉強道具にならず、「もう一回読んで！」という絵本にであいたいものです。

絵本をめぐる親と子の“温かい人間関係”、そして絵本を通して語られる“ことば”が学校教育の基盤になっていきます。先生や友だちと豊かな人間関係が持てる力、先生から語られることばに、**しっかり耳を傾けて聞く力**、これらが絵本を読むということに直結しているのです。

もう一度、絵本に向き合ってみませんか？



そこまで絵本について意識していなかった…そんな方もたくさんいると思いますが、幸いたくさんの絵本が身近にあふれている現代、もう一度絵本について考え、こどもの側にたって向き合ってみませんか？

◆ようちえんにあるたくさんの絵本、毎月の絵本貸し出し

◆地域の図書館

◆本屋さんの絵本コーナー などなど



案外近くに、たくさんの絵本があるものですよね！貸し出し日以外にも、読みたい本があればいつでもようちえんにお声掛けください。

「どんな本を選べばいいの？」と迷う方の為に、裏面にいくつか紹介しておきます。それ以外にも、『そらいろのたね』の手紙でも今のこどもたちが興味をもちやすい絵本を紹介していく予定ですので、ぜひご覧ください。



